

## すてきなエプロンつけて、今夜はおむすび&おでんの料理を！

「何だ！この見出しは…」と思われたことでしょう。実は、11月25日(土)に年中が劇の発表会を開催しました。その3クラスの劇のキーワードを繋ぐと表題のような文言になってしまった、という訳です。

2学期になって、年中はクラス皆で運動会の「ダンス、パラバルーン」に挑戦し、大成功を収めました。その経験を生かして、今度は文化的な劇の発表会にチャレンジしました。年少の時には、遊戯室のフロアを使っの「ごっこ遊び」を経験していました。年中になると、それぞれに役と台詞があり、ステージ全体を使って、動きを加えた言葉のやりとりを楽しみながら劇を構成していきます。

最初の頃の子ども達は、言葉が小さかったり、動きがぎこちなかったりしていましたが、当日は、役にしっかりとなりきり、感情のこもった台詞を大きな声で演じることができていました。どのクラスも堂々とした態度で演じ、見ている側も思わず劇の中に引き込まれていく、そんな感じを受けました。お見事でした。



【りす組】「おでんおんせん」の一場面

「おでん」に関する絵本を紹介します。

- 「おでんおんせんにいく」中川ひろたか著 佼成社
- 「おでんのおうさま」山本祐司著 ほるぷ出版
- 「おでんのゆ」真珠まりこ著 ひさかたチャイルド



【うさぎ組】「まあちゃんのすてきなエプロン」一場面

「まあちゃん」シリーズの本を紹介します。

- 「まあちゃんのながいかみ」  
たかどの ほうこ著 福音館書店
- 「まあちゃんのまほう」  
たかどの ほうこ著 福音館書店



【きりん組】「おむすびころりん」の一場面

日本昔話はストーリーが面白いだけでなく、日本人に根付いている精神や大切な教訓も伝えてきました。「おむすびころりん」の教訓は、自分のしたことが良くも悪くも結果として全て自分に返ってくるという「因果応報」が分かりやすく描かれています。この「因果応報」の教訓は、「おむすびころりん」の他にも

- 浦島太郎 ■鶴の恩返し ■かちかち山
- さるかに合戦 などがあります。読んでみましょう。

この発表会を通して、子ども達は、次のことを学んだと思います。

- ◎友だちと工夫したり協力したりすることを通して、一緒に活動する楽しさを味わったこと
- ◎登場人物に成りきって言葉のやりとりをする楽しさを感じたこと
- ◎諦めずにやり遂げたことへの達成感や充実感を味わうことができたこと

## 幼稚園の秋

一気に寒くなり筑女幼稚園の秋も加速しました。

百年の森の紅葉(クヌギ、カエデ)を2歳児クラスが満喫していました。

園庭の桜も赤く色づき、毎日のように赤い落ち葉の絨毯ができています。

